

Y05b 木曾シュミット乾板デジタル化データの公開—公開システムの開発

古澤順子, 市川伸一 (国立天文台), 青木勉, 征矢野隆夫 (東京大学), ほか 木曾観測所乾板デジタル化チーム

東京大学 木曾観測所では、シュミット望遠鏡で撮影された1975年からの写真乾板を全て保管している。写真乾板として蓄積されてきた過去の天文データの劣化や散逸を防ぎ、将来にわたって広く活用するために、デジタル化プロジェクトを2015年9月から進め、2019年3月に完了した。

我々は、デジタル化されたTIFF形式の画像データ(1975年から1998年までに撮影された写真乾板のうち6,103枚分)と、写真乾板の撮影情報(プレートサイズ/座標/積分時間/フィルター/プリズム/乳剤/観測者等7,035枚分)との照合を行い、データ公開に必要な項目と概略位置のWCS情報を付加したFITS形式のデータ(6,090ファイル)を作成した。

また、このFITS化されたデータをWebで公開するために、データベースの構築、サムネイル画像の作成、検索やデータ取得のユーザインターフェイスの開発等を行った。引き続き、概略位置の精度の検証と位置較正の必要性の考察を進めている。さらに、研究や教育活動に有益な情報の整備や公開システムの機能拡張についても、関係者とともに検討を進めていく予定である。

本講演では、乾板データ(TIFF画像)のFITS化の過程と公開システムの詳細について報告する。